

# りゅうおう

議会だより

No.203  
2023年5月1日  
滋賀県竜王町議会

竜王新古今八景  
妹背の里

古<sup>いにしえ</sup>からの歴史と共に故郷を

見守る二つの山なみ

定例会報告 P2～ 町制70周年の節目に向けた積極投資予算

委員会報告 P6～ 竜王町の子育て支援

一般質問 P10～ 地域活性化の現状は

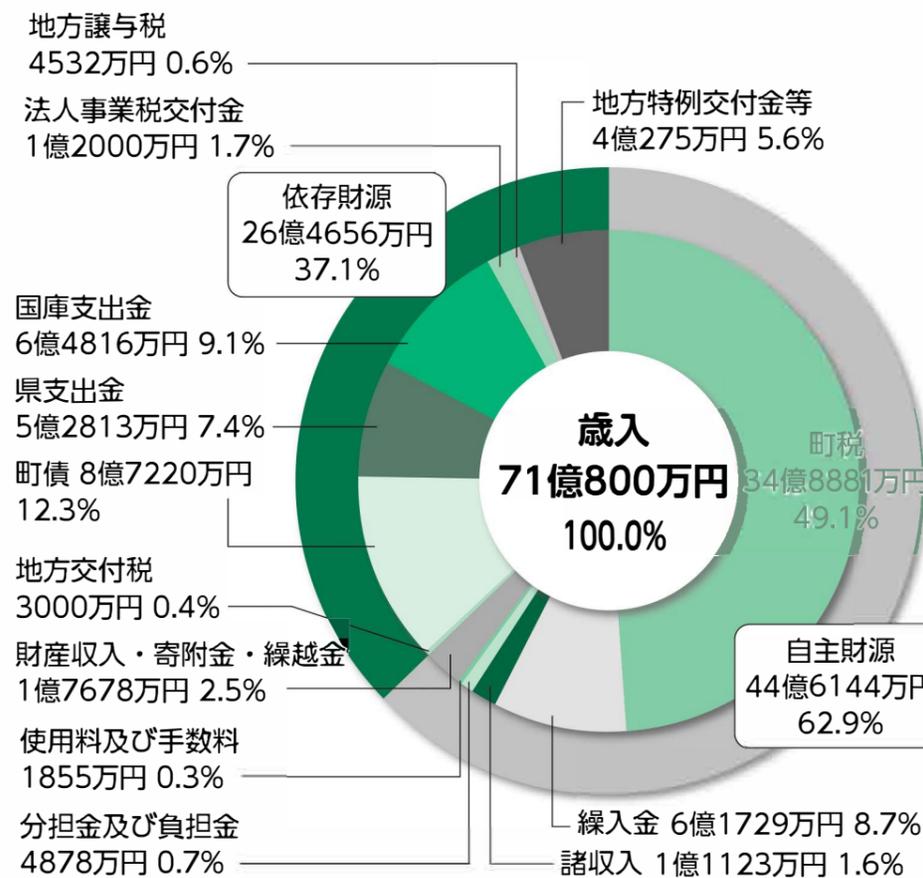
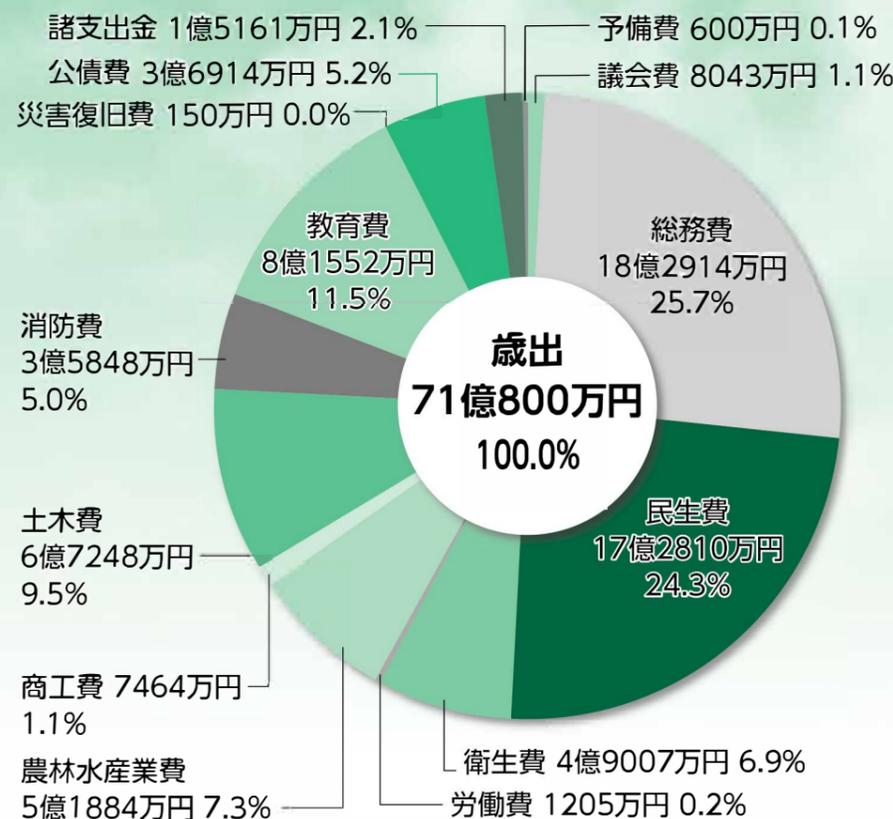
3月  
定例会

# 71億 円 可決

## 町制70周年の節目に向けた積極投資予算

令和5年度一般会計71億円（前年度差 3.8億円増）

3月定例会を2月27日から3月23日までの25日間の会期で開催しました。条例案件8件、令和4年度補正予算10件、令和5年度一般会計予算1件、特別会計予算5件、企業会計予算2件、一般会計補正予算1件、その他案件2件を原案の通り可決しました。



### 主な質疑応答

#### 総務部門

**問** 総合庁舎1階の改修工事に合わせて町民が気軽に立ち寄れるサロン等の施設は考えているのか。

**答** 費用対効果の面から難しいがエントランスから待合室的な場所に工夫は必要と考えている。

**問** シティプロモーション事業の委託先は。

**答** 公募のプロポーザル審査で決定することを予定している。

**問** 中心核整備の造成事業においてコスト削減の検討は。

**答** 浸水想定区域以上に造成することを前提にしながら、コスト削減に繋がる手法を精査する。併せて防災機能を備えた公園などを、可能な限り国の補助金などを活用し、町としての自己負担を少しでも減らす努力を重ねていきたい。

#### 産業建設部門

**問** 地域計画の策定推進事業で所有者不明や相続登記のない農地などの取扱いは。

**答** それ以外にも色々想定しており、ケースバイケースで協議が必要になるので、地域計画は臨機応変に対応する。

**問** バイオマス産業都市構想について具体的な方向性は。

**答** 五つの大事業化PJ（プロジェクト）として計画しており、バイオガス化PJは令和4～6年度で実証実験後、令和8年度から本格運転予定。その他PJは協議しながら進めていく。

#### 住民福祉部門

**問** 重層的支援体制整備事業の令和5年度の重点施策は。

**答** 「気にかける会議」をPJ化し、まずは気になる人を把握することに重点を置く。

#### 教育委員会部門

**問** 情報メール配信システム導入業務委託の内容は。

**答** 学校・園で既に導入している現在のシステムを学校と保護者が双方向で幅広く使えるシステムに更新するためのもの。

**問** GIGAスクール構想に絡む事業の予算が明確に見えないのはなぜか。

**答** 令和5年度に大きな予算として計上していないだけで、事業としては、教育基本方針に盛り込み確実に進めている。具体的には、一人一台端末の整備が完了し、使う・慣れるから使いこなせるところにステップアップできるような取組を実施していく。今後については、GIGAスクール支援の事業をどう整理し反映していくのかを含めて推進方法を検討していく。

### 令和5年度当初予算に対する反対と賛成の討論

（「令和5年度一般会計予算」への討論から抜粋）

**反対意見：** 厳しい財政下での中心核整備事業について、物価高騰や社会情勢等の影響で巨額な費用が更に増額になっていることを改めて町民に説明し同意を得る必要があると考える。

**賛成意見：** 令和5年度当初予算は、71億800万円（前年度差3.8億円増）の過去最大の予算となっている。単に、竜王町コンパクトシティ化構想実現に向けた中心核整備事業の予算のみが増加したのではなく、様々な課題についても強化されている。

# 令和5年度の主な予算

## 活力あふれるまちづくり ～発展・進化を生み出す豊かさの創造～

- ・新竜王小学校の建築に向けた造成および新設道路工事等
- ・人・農地のみらいを考える「地域計画」の策定および農業振興地域の見直し
- ・道路・橋梁の長寿命化と新たな道路開通に向けた準備
- ・まちの魅力発信と定住の促進

7億8495万円

835万円

1億7004万円

1600万円

## 安心して暮らせるまちづくり ～次世代に引き継げるやさしさの創造～

- ・地域まるごと包括的支援の推進
- ・第79回滋賀国民スポーツ大会開催を契機としたスポーツ拠点の整備とスポーツライミングの普及促進
- ・「確かな学力」を育む学校教育の推進

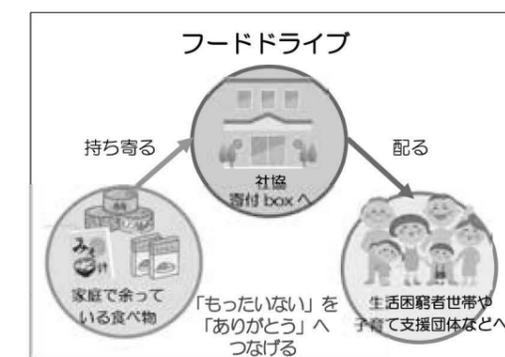
7515万円

5447万円

839万円



ドラゴンポルダリングジム



フードドライブ概略図

## みんなで進めるまちづくり ～新たな時代に対応したつながりの創造～

- ・ふるさと竜王夏まつりと第40回記念竜王町文化祭等の開催
- ・自治会活動への支援と地域コミュニティの活性化
- ・行政手続のオンライン化・事務のデジタル化

540万円

4136万円

1319万円



ふるさと竜王夏まつりの様子



自治会ヒアリングの様子



竜王町中心核（交流・文教ゾーン）整備区域



町道巡検線（巡検橋）

## 1月臨時会

1月27日に第1回臨時会を開催し、一般会計補正予算1議案が上程され、慎重審議の結果、原案の通り可決しました。

補正総額

(内容)

出産・子育て応援交付金事業

925万3千円

## 総務産業建設常任委員会

## 調査 竜王インターチェンジ周辺の開発状況について

エリア内での進出予定企業の報告と、新たな産業用地候補地の検討状況について調査した。

## ①進出予定企業の3社

- ・株式会社日本アルテック 令和5年5月操業予定  
業種：アルミ加工品製造 敷地面積：約16,000㎡
- ・Asa合同会社 令和10年6月までに建築予定  
業種：データセンター 敷地面積：約67,000㎡
- ・クレド・アセットマネジメント株式会社 令和7年7月操業予定  
業種：物流倉庫 敷地面積：約67,000㎡

## ②新たな産業用地候補地として3箇所を検討している。

## 調査 行政視察研修

1月12日に大分県宇佐市、1月13日に大分県杵築市に行政視察研修を行った。

## 宇佐市：人口減少対策における若者定住施策

移住において子育て世帯新築購入補助や移住促進マイカー取得補助等の紹介があり、移住・定住の施策に手厚く取り組まれていた。これらは、本町の移住・定住施策を進める上で大いに参考となった。

## 杵築市：集落営農の取組について

集落営農法人の経営力強化のため、高収益新規品目の栽培推進や経営の規模拡大、集落営農法人の合併と育成等の説明を受けた。その後、農事組合法人ひがし営農組合の現場視察を行った。本町のこれからの農業施策を推進する上で大変参考となった。

## 議会ICT化特別委員会

## 報告 タブレット端末等導入に係る新年度予算の確認と会議規則等の見直しについて

## ◇新年度予算

タブレット端末の利用料やペーパーレス会議システムの導入に関する予算の内容について確認した。

## ◇議会会議規則等の見直しについて

- ・現行の条項ではタブレット端末等を議場に持ち込むことができない。
- ・ICTを用いた開かれた議会づくりを目指すためには端末等の整備とともに、条例や規則に関しても検討を深める必要性を確認した。

## 主な議論

**意見** 議会会議規則が上位になっていることから条例に触れず、会議規則だけを改正してはどうか。

**まとめ** 議会ICT化特別委員会としては、タブレット端末等の持ち込みに関する条項について見直した方がよいので原案を作り検討する。

## 付記 竜王町職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例

地方公務員法の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、職員の定年を65歳まで段階的に引き上げるとともに、管理監督職務上限年齢制および定年前再任用短時間勤務制に係る規定のほか、所要の規定を整備するため、関係条例の一部を改正等するものである。

## 主な質疑応答

- 問** 役職定年制の例外措置として、役職定年制の対象職員についても他の職への異動により公務に著しい支障が生じる場合、引き続き管理監督職で勤務させることができるということであるが、公務に著しい支障が生じる場合とはどのような場合か。
- 答** 例えば主監級の職員が役職定年を迎えた際、経験や年齢から新たに主監級になる職員を補充できない場合や、主監級の職員が特定の業務に従事して退職することにより業務の遂行に支障が生じる等の特殊な場合である。

## 調査 竜王町DX推進計画の進捗状況について

全国的な近年の情報通信ネットワークの発展やスマートフォンの普及等に伴うライフスタイルの変化により、国の方針をもとに、本町の行政分野におけるデジタル化の遅れを踏まえ、令和4年3月に竜王町DX<sup>(※1)</sup>推進計画が策定された。この計画は、令和7年度までの4年間で対象である。

## ●具体的な目標

- ①デジタル技術を活用した行政経営のスマート化
- ②行政サービスの利便性の向上と地域社会の活性化

## ●令和4年度の主な進捗状況

- ①行政経営のスマート化  
BPR<sup>(※2)</sup>の取組の徹底（業務手法等の抜本的見直し）
- ②行政サービスの利便性向上  
マイナンバーカードの普及促進
- ③地域社会の活性化  
庁内運用基準・関係条例の見直し
- ④デジタル人材の確保・育成  
人材研修の実施



## 主な質疑応答

- 問** RPA<sup>(※3)</sup>の利用促進で口座振替依頼書情報自動入力ツールにより介護保険と後期高齢者医療では、一定の構築ができたということであるが、空き家管理シナリオツールの構築はどのような内容か。
- 答** 空き家管理のRPAツールも、令和4年度にシナリオ構築が完了しており、建設計画課で空き家バンクのデータを整理するときにシステムの情報を自動で取得し、データバンクができるものである。

※1 DX 最先端のデジタル技術を企業や行政などに広く浸透させることで、人々の暮らしをより便利で豊かなものへと変革すること。

※2 BPR 企業などで既存の業務のやり方や手順を抜本的に見直し、業務の流れ（ビジネスプロセス）を最適化すること。

※3 RPA 人間がコンピュータを操作して行う作業を、コンピュータ上で動くロボットが自動的に操作することによって代替すること。

## 教育民生常任委員会

## 調査 妊娠期から乳幼児期までの竜王町の子育て支援

1. 現状：竜王版ニューボラ（※ニューボラとは、妊娠から出産、育児へと切れ目のない支援体制のことをいう。）
  - 1) 妊娠届および母子健康手帳の交付
  - 2) 不妊治療費助成
  - 3) 未熟児養育医療給付
  - 4) 新生児訪問
  - 5) マタニティサロン
  - 6) 赤ちゃんサロン
  - 7) 産後ママのケア訪問
2. 課題
  - ・夫や両親などの支援が得られにくい。
  - ・未婚、若年等不安が強く、精神疾患で受診している方もみられ、妊娠期から支援を要する家庭が増加傾向にある。
  - ・産婦健診や新生児訪問で実施する調査票において産後うつ傾向の人が見られるが、県内の精神科のサポート体制が整っていない。
3. 令和5年度の取組
  - ・産後ケア事業としてショートステイやデイサービスが利用できる体制整備と訪問型の継続に努める。
  - ・出産・子育て応援交付金給付事業を活用し、妊婦および子育て家庭の伴走型支援の充実を図る。

## 主な質疑応答

問 産後うつの判断は。

答 出産後と新生児訪問等で実施する調査の指標に基づき、母の状況を点数化している。点数が高いと産後うつ傾向にあると判断できる。

## 地域活性化特別委員会

## 調査 「金沢市集約都市形成計画」行政視察研修、中心核整備の進捗状況

## ◇行政視察研修

「軸線強化型都市構造」を目指している金沢市でも、中山間部の過疎化、高齢化等に問題意識を持っており、計画の変更等は都市計画マスタープランに盛り込んでいる。本町としても中心核と地域コミュニティのネットワークづくり、集落・団地の機能やコミュニティの維持を目的としたコンパクトシティ化構想をさらに進めていく上での参考となった。

## ◇中心核整備（交流・文教ゾーン）の令和5年度の主な事業予定

- ・埋蔵文化財試掘調査（令和5年4月～5月）
- ・造成工事および道路工事（令和5年7月～）
- ・竜王小学校建設基本設計実施設計（令和5年2月～令和6年3月）
- ・公園基本設計（令和5年7月～令和6年3月）

## 主な質疑応答

問 小学校の建物敷地の盛土の高さは、町道田中巡検線（惣四郎川堤防側）側の高さになるということでしょうか。

答 今回の盛土高は、2m程度を計画しているので堤防道に比べてほとんど変わらない。

## 調査 子どもたちの健やかな育ちとスマホ等の現状について

～スクリーンタイムと子どもたちの健やかな育ちを考える～

\*スクリーンタイムとは、ゲームやネット、通信を楽しむためにパソコン、スマホ、ゲーム機を使っている時間とテレビを見る時間を合わせた時間のこと。

## ◇令和4年6月と9月にスクリーンタイムの調査を実施

（結果）ネット依存傾向 全国中学校平均=12.4%（2018年）

竜王町 小学校（小4～小6） 2021年 16.7% ⇒ 2022年 15.4% 低下傾向  
中学校 2021年 21.6% ⇒ 2022年 24.3% 増加傾向

## ◇令和4年度の効果的な取組

## 1) 現状認識の整理

- ア. スマホと「どう付き合っていくか」をしっかりと考え、実践できる環境づくり
- イ. 「スマホの長時間の使用はいけなし」について子どもたちの疑問に納得させられる答えがでる保護者がいない。
- ウ. 若い親世代が深く考えず、子どもにあてがうケースの増加によりスマホ所持の低年齢化が進んでいる。

## 2) スマホに係る子どもたちへのアプローチ

- ア. 子どもたち自身の課題としての取組：生徒会から生徒、保護者、家庭に向けての啓発の呼びかけ
- イ. 「ななめの関係から」の取組：兵庫県立大学の学生によるスマホ教室を開催し、従来にはない働きかけ
- ウ. 「しるみる竜王・防災無線」などによる取組：普及した周知啓発ツールを活用

## 3) 令和5年度からの教育委員会の取組

- ア. 乳幼児期での取組
  - ・町健康推進課との連携による妊娠期と定期健診時での母親への啓発
- イ. 就学前からの取組
  - ・こども園や保育園との連携による保護者対象の研修機会を設定
- ウ. 竜王町養護教諭等連絡部会での取組
  - ・就学前から中学期までを対象としたスクリーンタイムの影響や生活習慣の確立の大切さを成長段階に応じた啓発



スマホ・ケータイ安全教室（竜王中学校）の様子

## 主な質疑応答

問 スクリーンタイムの問題について、いろいろな取組を行った中で、教育委員会として手応えなどをどのように感じているのか。

答 1月から始めた中学生の地域への呼びかけでの批判的な意見は届いておらず、逆に関係者からは続けてほしいとのご意見をいただいている。



いしべ としお 磯部 俊男 議員



### 問 東出交差点改良工事の着手は

答 令和5年度より物件移転補償を含む用地交渉を行う予定

この計画については令和2年度に現地調査、公安委員会協議および修正設計を、令和3年度に用地測量図面の作成、令和4年度に関係地権者への説明と物件移転補償等の調査を行っていた。



東出交差点

東出交差点は、どのような改修工事を想定しているのか。また、その改修時期は。

当交差点では朝夕渋滞しており、また、形状について交差点を挟んで東西の道路の線形がずれており、交通事故を誘発する恐れのある形状と認識している。また、東側には法教寺川があり支障となることから、右折レーン等を最小とした一定小規模な交差点改良とした計画となっている。

令和5年度以降、物件移転補償等を含む用地交渉を行い、ご協力をいただけたら、その後工事着手という流れで予定されている。この地域課題については県とも情報共有をし、課題解決は簡単ではないと認識しているが、当交差点改良によるメリットを最大限に活かせるよう引き続き協議を行う。

患者等への対応や、感染者や濃厚接触者の待機等行動制限等について変更されるが、今後において様々な場面におけるガイドラインが国から提示されると見込まれる。このような中、マスクの着用については、3月13日から個人の判断に委ねられ、着用が効果的な場面等について提示があった。町からは、マスクの着用等の他、基本的な感染症対策について町のホームページ

新型コロナウイルス感染症の感染法上の5類への変更に伴う対応等は。

新型コロナウイルス感染症の2類から5類への引き下げ後の対応は、国、県との連携による情報発信と、ワクチン接種事業を含め相応の対策を適宜実施する

これまで屋外では原則不要、屋内では原則着用していましたが  
令和5年3月13日から  
マスク着用は個人の判断が基本となります

ただし、以下のような場合には注意しましょう

周囲の方に、感染を広げないために  
マスクを着用しましょう

受診時や医療機関・高齢者施設などを訪問する時  
通勤ラッシュ時など混雑した電車・バスに乗車する時

自身を感染から守るために  
マスク着用が効果的です

高齢者 基礎疾患を有する方 妊婦  
重症化リスクの高い方が感染拡大時に混雑した場所に行く時

本人の意思に応じてマスクの着用を強いることがないよう、個人の主体的な判断が尊重されるよう、ご配慮をお願いします

※事業者の判断でマスク着用を求められる場合や従業員がマスクを強制している場合があります

厚生労働省

新型コロナウイルス感染症対策

ホームページ、しるみる竜王で情報を発信している。今後も国、県と連携して情報発信を行い、また、特例臨時接種の実施期間の延長に伴うワクチン接

# 町政 ここを問う!

3月定例会では10議員が22問の一般質問を行いました。

一般質問とは、議員が町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて所信や疑問を質し報告や説明を求めることです。

ページ	質問者	質問事項
11	磯部俊男議員	・東出交差点改良工事の着手は ・新型コロナウイルス感染症の2類から5類への引き下げ後の対応は
12	鎌田勝治議員	・チョイソコリゅうおうの今後は ・地域活性化の現状は
13	尾川幸左衛門議員	・町内人口減少の緩和対策は ・竜王町水道事業ビジョンの改訂は
14	中村匡希議員	・町内施設でおもいやり駐車場の整備を ・竜王町シティプロモーション事業の経過と今後は
15	福田優三議員 澤田満夫議員	・運動部活動の地域移行等の検討状況は ・竜王町公民館と新コミュニティセンターの活用方法は
16	大前セツ子議員	・ダイハツ竜の子ファミリー車提供制度は ・町民自らが魅力発信者に
17	小西久次議員	・まちづくりの推進と今後の体制は ・ため池底樋の修繕は ・これからの自治会のあり方と若者定住は※
18	橘せつ子議員	・竜王町中心核「交流・文教ゾーン」の整備事業は ・コミュニティセンターのあり方は※ ・「チョイソコリゅうおう」の運営のあり方は ・竜王町のスクールバスの使用について※ ・道の駅竜王かがみの里周辺の土地利用は※
19	森島芳男議員	・ふるさと納税の取組は ・空き家数の現在の状況と対策は

※紙面の都合上、掲載しておりません。QRコードから、全ての質問がお聴きいただけます。

次回の一般質問は  
令和5年6月21日(水)予定

議員の質問順は町ホームページでご確認ください。

問 議会事務局 電話 0748-58-3713

各議員のQRコードをスマートフォンで読み取ると音声配信が聴けるよ



近江うし丸





ふくだ ゆうじ 議員



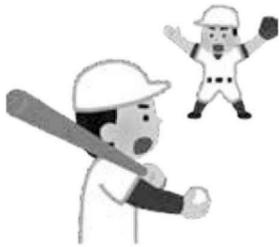
### 問 運動部活動の地域移行は

答 学校運営協議会と連携し進めていく

① 竜王中学校・学校教育課・生涯学習課を中心に、昨年10月・12月・今年に入って2月・3月の計4回開催している。  
② 職員会議等の機会に研修の場を設け、ガイドラインに示されている

問 令和4年第3回定例会の一般質問で同僚議員が運動部活動の地域移行について質問をされた。そこで次の3点について伺う。  
① 運動部活動の在り方に関しての検討委員会等の検討状況は。  
② 教職員の働き方改革の観点から部活動の顧問としての関わり方に関して、教師間で継続的に話し合い等はされているのか。  
③ 地域学校協働本部や学校運営協議会等との連携で土日の部活動指導員をお願いする等検討していただくか。

活動時間や休養日の基準等を確認しながら部活動の実施を心がけている。勤務時間に直接かかわる活動日の問題や課題、生徒間のトラブル、保護者の要望等についても協議の場を持ち、一部の教職員の負担にならないよう努めている。  
③ 竜王中学校の学校運営協議会内に地域移行に関わるコーディネーターを置き、事務局機能を持たせる形で推進していく。



なかむら まさき 議員



### 問 おもいやり駐車場の整備を

答 施設整備に合わせて看板等を設置したい



現状でも高齢者・ベビーカー利用者等も利用できる

問 町の各施設には車椅子マークの駐車スペースがあるが、ほとんど使用されていない例も見られる。そこで次の点について伺う。  
① 車椅子マークはどのような方を優先した駐車スペースなのか。  
② 様々な困難を抱える方が利用できる「おもいやり駐車場」を整備していただくか。

① 車椅子利用者だけでなく、すべての障がい者・妊婦・高齢者・ベビーカー利用者等、移動に配慮が必要な方すべてに利用していただけるが、周知が十分できておらずPRするよう各施設に促す。  
② 「おもいやり駐車マーク」は町の住みやすさを感じる有効な手段であると感じており、今後計画している庁舎改修工事等の機会に合わせて表示や看板等を設置していきたいと考えている。

### 問 町公民館と新コミセン活用のすみ分けは

答 新コミセンに公民館機能を取り込めないかと考えている



さわだ みつひろ 議員



問 現在の公民館と新コミニティセンターのそれぞれの活用において、どのようにすみ分けようと考えているのか。

答 中心核の交流・文教ゾーンに整備を予定するコミニティセンターについては、「輝竜の郷づくり懇談会」や、第六次竜王町総合計画において、周辺に公共施設等との連携により多様な機能の発揮を目指すとの考えを示し、現在の竜王町公民館の継続的な活用を前提としてきた。しかし、その後、町全体での公共施設のあり方や町民の皆様のライフスタイルやニーズの変化、整備にかかる費用の活用等様々な観点から検討を進める中で現時点では、新たに整備するコミニティセンターに公民館が担っている機能や役割を取り込めないかと考えている。その公民館機能とは、生涯学習や体験機能、人材育成機能、利用者の方々が様々な機会を通して交流できる機能等である。



竜王町公民館全景

### 問 シティプロモーションの経過と今後は

答 町外・県外へのPRに力を入れていきたい

問 本町のシティプロモーション事業が始まって1年が経つが、① これまでの効果や成果は。  
② 今後の展開は。  
③ 広告の出稿やインフルエンサーについての見解は。

① 力を入れていきたい。昨年8月に広告を実施したところ一か月で約9万6000人の方に閲覧いただいた。イン

フルエンサーの登用については町の魅力を知っていただくため積極的に検討していく。

① ガイドラインを策定し、ブランドコンセプトを定め、ポスターやPR動画を作成した。進捗管理については目標指標を定めた。例えば令和8年度までのフォロワー数の目標を1000人としている。  
② ターゲット層に響く手法やメディアを活用し、町外や県外へのアウトリーチプロモーション



4年後までに1000フォロワー獲得を目指す町公式Instagram



こにし きよし 議員



### 問 まちづくりの推進と今後の体制は

答 計画的な推進と時代の変化に対応できる体制づくりに取り組む

①「交流・文教ゾーン」は55億円と見込むが物価高騰の影響も否めない。コストを意識し、費用を検討精査し、過度な財政負担にならないよう計画的に取り組む。令和5年度から造成・道路工事、令和6年度は童王小学校建築、以降こども園、給食センター等計画的に予算化する。公共施設改修等



これから進む交流・文教ゾーン

②コンパクトシティ事業予算の考え方と今年度以降の大幅な事業予算増の対応は、まちづくりの執行体制について。

③職員数確保と負担増  
①限られた人員の中で町民に信頼・満足していただけるサービスを継続的に提供できる職員体制づくりに努める。  
②人材育成に努め職員の増員も含め適正な職員数の確保に努める。

③以前から要望があり、関係機関に相談し、対応について検討を進めている。修繕に当たっては膨大な事業費が想定され地元負担も多額になること、



落水時清掃状況の野口池

③以前から要望があり、関係機関に相談し、対応について検討を進めている。修繕に当たっては膨大な事業費が想定され地元負担も多額になること、



昨年8月の満水に近い野口池

### 問 ため池底樋の修繕は

答 関係機関・地元と協議を重ねる

野口池は1.5ha、受益面積25haであり、農業用水として利用している。集落では3年に一度底樋を抜き落水をし清掃を行い、ヘド口を排出除去している。□径25cm長さ約5mある木管が腐って通水不可能となっているため、復旧要望行っているが、相当な予算が必要である。昨年8月集中豪雨時は早期落水により越水を免れたが流域が広く越水による数件の人家に被害の恐れがあると思われる。その対策の所見を伺う。

底樋からの通水は不可能なもの余水吐き等からの事前操作により、直ちに防災上問題があるとは言えない。野口池は滋賀県の豪雨耐性調査では「不良」の判定であった。今後の防災工事の進め方については、町内の23のため池について整備の優先順位付けを行い、県営事業・団体営事業で行うのか地元負担割合の調整等、関係機関や地元関係者と協議を重ね優先度の高いため池から工事着手する。



おおまえ せつこ 議員



### 問 ダイハツ竜の子ファミリー車提供制度は

答 親子・孫の3世代で暮らす喜びに繋げたい



ダイハツ竜の子ファミリー車提供制度

①本町の特徴的な子育て支援に「ダイハツ竜の子ファミリー車提供制度」がある。一定の条件を満たした住民に対し、ダイハツ車を3年間無償で貸し出す支援である。  
②2年間の利用状況は。  
③問い合わせ状況は。  
④この条件を取り入れた思いは。

①令和3年度は21件、令和4年度は3月20日現在で7件。  
②第2子の場合の提供条件等にかかるものがごまれにある。  
③先行する他市では、第3子以上を対象としているのに対して、当町においては、高齢者世帯の増加の抑制等につなげられればとの思いで、親の同居等を条件に第2子も対象に加えている。

③町の魅力発信と定住促進を図るため、令和4年度より本格的にシティプロモーション事業を進めている。  
この中で町民・企業・団体等の「ALL竜王体制での魅力発信」を行うこととしており、こうし

③町の魅力発信と定住促進を図るため、令和4年度より本格的にシティプロモーション事業を進めている。  
この中で町民・企業・団体等の「ALL竜王体制での魅力発信」を行うこととしており、こうし

た取組に対して様々な面から積極的に連携や支援を実施していききたいと考えている。



町内いいとこ再発見ツアー

### 問 町民自らが魅力発信者に

答 「ALL竜王体制での魅力発信」に向けて積極的に連携していきたい



もりしま よしお 森島 芳男 議員



### 問 ふるさと納税の取組は

答 寄付金額3億円達成を前提とする



ふるさと納税自動販売機

問 ふるさと納税自動販売機については、竜王インターチェンジ付近にある大型商業施設内へ、令和4年9月22日に設置した。令和5年2月末現在の寄附件数は85件、寄附金額139万7千円である。ふるさと納税自動販

問 「ふるさと納税自動販売機」が昨年に設置されたが、成果として納税していただいた件数と金額は。今後は、ふるさと納税自動販売機の設置を増やすのか、また寄附額増加策をどのように考えているのか。

答 ふるさと納税自動販売機の認知度を高め、道の駅やゴルフコースなどへの「タブレット」の設置などを検討していく。また、より効率的な寄附額の増加を図るため、令和5年度の寄附額3億円達成を前提として公募を行い、最も優れた提案のあった「株式会社パンクチュアル」へ、令和5年4月1日から事務代行を含めた事務委託を行う。委託事業者とともに、今後も様々な手法にチャレンジし、竜王町の魅力発信を行うことで、ふるさと納税の取組を推進して

問 空家等意向調査は、所有者に対し、空き家の利活用の意向を調査するもので、課題解決に向けた基礎資料を作成することを目的としており、前回は平成30年度に実施した。次は令和5年度に実

問 空き家が年々増加している。平成30年度空き家状況マップにおける竜王町の世帯数3767世帯で空き家数162件、空き家率4.3%であった。竜王町空家等対策計画（平成31年3月）によると、空家等意向調査は令和元年度から令和5年度までの間に1回調査を行うと書かれているが、調査はされたのか。その結果に対してどのように取り組んでいくのか。

住宅をお持ちのみなさまへ

### 空き家の適正な「管理」は所有者の「責務」です！

空き家をそのまま放っておくと、建物の劣化が進みます。維持管理費や固定資産税が増加し、防犯、防災、衛生、景観等の面で近隣住民の生活環境に支障を及ぼすおそれがあります。

① 空き家を危険な状態等で放置すると... 固定資産税等の額が大幅に上昇します！  
平成27年6月に空家等対策の推進に関する特別措置法が全面施行されました。空き家を危険な状態等で放置し、周辺に悪影響を及ぼすことにより当該空き家の所在地に係る住宅用地増徴が開始された場合、固定資産税等の額が大幅に上昇します。

② 空き家の管理不全が原因となって... 近隣住民等がケガをするおそれがあります！  
損害賠償 ▶▶ 空き家の管理不全が原因となって、近隣住民等がケガをした場合、近隣住民等が損害賠償請求権を行使し、7年以内の期間で損害賠償責任を負う可能性があります。

項目	金額
固定資産税	3,400,000円
都市計画税	2,500,000円
雑種地増徴	5,000,000円
合計	10,900,000円

約5千600万円の損害額!!

竜王町

答 空家等意向調査は、所有者に対し、空き家の利活用の意向を調査するもので、課題解決に向けた基礎資料を作成することを目的としており、前回は平成30年度に実施した。次は令和5年度に実

施する予定をしている。意向調査結果は現状把握のための基礎資料であるが、個々の空き家が管理不全となる前に、所有者等において次の利活用等につなげることが大事で

ある。竜王町空き家・空き地情報バンク等の活用はもとより、自治会やNPO、事業者等とも連携を図りながら、利活用等の促進に取り組んでいく。



さかい せつ子 議員



### 問 竜王町中心核「交流・文教ゾーン」の整備事業は

答 適切な財政運営が可能と考えている

問 土地収用法の事業説明会で整備事業とその財源が示され、概算予算は建物建築費40億円、用地取得費・敷地造成費9.6億円、道路・インフラ整備5.6億円、合計55.2億円である。

答 ①他市町では事業費が約40%も値上がりしたと言われているが、大幅な増額が必要なら値上げ幅を検討した予算を示し、町民の同意を得る必要があるのでは。②建物建築費40億円の内訳、小学校をはじめ各施設の予算を示す必要があるのでは。③起債償還はこの事業とともに、町他の起債償還全体の見通しを示すべきでは。



交流・文教ゾーン事業計画図

階に応じて必要となる事業費について、都度お示ししていく。②各施設の詳細については実施設計等を踏まえ、建設費を算定して、都度お示ししていく。③交流・文教ゾーン整備分、既借入分、その他の事業分を合算した償還金額は、令和17年頃にピークを迎え約6億9千万円となり、実質公債費比率は約16%となる見込みで、適切な財政運営が可能と考えている。

問 「チョイソコリゅうおう」の運営のあり方は

答 町独自で行うことは現実的でない

問 利用者の方から「予約の電話をしたが、帰りの時間はセンターの方からこの時間しか空いていませんと指定されて困った」「予約されている方の通り道の途中なので、一緒に乗せてもらうと言ってモーターから断られる」「等の声が出されている。

答 ①このような状況を町としてどうとらえているのか。②車は1台なので台数を増やす等の対応が必要では。③オペレーションセンター委託を、町独自の事業にする等の対応は。



チョイソコリゅうおうの車輛

番や車両の安全運行等の観点から、やむを得ず希望通りに配車できない場合もある。③まだ車両の追加を要する状況ではないと考えられる。費用対効果や町民皆様のニーズ等を踏まえ、真に必要と認められる場合に追加を検討していく。

# 新池と鏡山



表紙

「竜王新古今八景」とは、町内各地に根付く、風習・人々の生業・現在まで受け継がれてきた地域の価値観・竜王を形つくる新しい顔を意識した心象風景です。

古代から故郷を見守る東の竜王山「雪野山」には、卑弥呼の鏡といわれる三角縁神獣鏡が出土した古墳がある。一帯は「蒲生野」と呼ばれ、万葉の世から天智天皇の薬草狩り等、度々歴史の舞台に登場してきた。特に大海人皇子と額田王との間で交わされた相聞歌は、近くの野外活動施設「妹背の里」の名の由来になっている。西の竜王山「鏡山」は、その山容の美しさから、近江名山の一つに数えられ、古来歌枕として多くの歌人に詠まれた歌が古今和歌集などにある。山麓一帯には、古墳が多数あり北端には「星ヶ崎城址」がある。眼下に旧東山道と旧鏡宿があり、軍事上の要衝でもあった。頂上には、京都貴船神社の祭神の分霊が祭祀されている。初夏には登山道を歩むと町の花「あえんぼ」が、訪れる人を迎えてくれる。なお、裏表紙の「竜王八景」は、山面の新池と鏡山です。

## 貴多正幸議長 表彰される

去る3月28日に開催されました滋賀県町村議会議長会第74回定期総会におきまして、議員在籍期間15年以上の功績を称え、竜王町議会議員の貴多正幸議長が同総会の席上で表彰の栄誉を受けられました。これまでの町政発展のためにご尽力いただいたことに敬意を表し、今後も竜王町発展のためにご活躍を期待したいと思います。



### 議会広報特別委員会

- 委員長 鎌田 勝治
- 副委員長 森島 芳男
- 委員 澤田 満夫
- 委員 尾川幸左衛門
- 委員 磯部 俊男
- 委員 貴多 正幸

発行・竜王町議会  
編集・議会広報特別委員会

〒520-1259 滋賀県蒲生郡竜王町小口3  
☎(0748)5813713



環境に配慮し、再生紙及び植物油インキを使用しています